弁天橋花いっぱい愛好会

暑い！雨降らない！今年は昨年よりさらに花にとっても厳しい気候になりました。

その中で弁天橋花いっぱい愛好会、片瀬地区子ども会連絡会そして江の島・藤沢ガイドクラブの皆様によってこの夏もマリーゴールド、ポーチュラカ、ガザニアが元気にきれいに咲いています。

昨年「弁天橋花いっぱい愛好会ボランティア募集」の立派な看板を立てていただき新規の会員の入会があり、花壇にベンチを設置していただいたおかげで、スケートボーダーたちの花壇への倒れこみや踏み込みが減り、枯れる株が減りました。また大型スコップ、大型じょうろ、剪定はさみ、雑草刈りの道具などを支援していただき、おかげで効率よく作業ができるようになりました。

今年は観光客の増加、極暑のため活動時間も朝10時から9時に1時間早め、水やりも朝6時から乾き具合で3～4日に一度撒いています。

弁天橋を渡る観光客も、「弁天橋花いっぱい愛好会」のノボリの旗や、身に着けているゼッケン、名札でボランティア活動だということを理解してくれて「ありがとう。」「ご苦労様。」と声をかけてくれます。また、活動を見て「あなたたちが作業してるのね。」と、今年も数人入会された方もいらっしゃいます。

［会員募集］

全てボランティア活動です。活動はその日の体調、ご都合、無理な参加は無し。が原則で行っています。ローテーション、義務での参加はボランティアではありません。
また、手袋、作業道具は基本そろえてあります。ただご自分の好きな道具は持参してもかまいません。

楽しい仲間がお待ちしています。随時会員募集しています。ご興味がある方はぜひ片瀬市民センター（0466-27-2711）へ電話か直接窓口にお越しください。また、活動時間にめぐり合わせましたら誰でもよいのでお声がけください。

弁天橋花いっぱい愛好会　会長　永由　勝

令和７年度　片瀬・江の島まちづくり協議会（片瀬地区郷土づくり推進会議）役員・委員名簿

（敬称略・順不同）

役職	氏　名	選出母体等
会長	畠山　義昭	片瀬地区自治町内会連絡協議会
副会長	澁谷　晴子	片瀬地区社会福祉協議会
	三觜　由見子	片瀬地区子ども会連絡会
	徳江　紀子	片瀬地区青少年支援フォーラム
	阪井　久江	片瀬市民スポーツの会
	飯森　美智代	片瀬地区交通安全対策協議会
	藤原　恭子	片瀬地区生活環境協議会

氏　名	選出母体等
小原　美佐江	片瀬地区民生委員児童委員協議会
甘粕　勇二	片瀬地区防犯協会
岩田　克美	片瀬地区老人クラブ連合会
塚田　尚子	片瀬地区青少年育成協力会
馬場　英人	片瀬地区自主防災協議会
山本　真也	江の島振興連絡協議会
金子　皓	片瀬地区商店会

氏　名	選出母体等
岡田　勝治	公募
岡野　美由紀	公募
上條　美和子	公募
矢島　茂雄	公募
山岡　未佳	公募
山口　大助	公募

まちづくり通信第47号
発　行　片瀬・江の島まちづくり協議会
発行人　会長　畠山　義昭

事務局：片瀬市民センター　地域づくり担当
電話：0466（27）2711　FAX：0466（25）8907
電子メール：fj-kata-c@city.fujisawa.lg.jp

片瀬ポータルサイト

片瀬・江の島まちづくり協議会

まちづくり通信

Ｎｏ．４７
2025年9月30日発行

新体制からの活動を報告します！

「片瀬・江の島まちづくり協議会」では、令和６年９月から新しく４つのWG（ワーキンググループ）で地域課題の検討等に取り組みました。今回の「まちづくり通信」では、その報告と「片瀬・江の島地区」の魅力ある風景やお祭り等のご紹介をいたします。

広報WG

私たちは、片瀬・江の島地区の皆さまに向けて「片瀬地区 KEIJI_BAN」をLINEで配信しています。市役所・図書館の便利なリンクや地域カレンダー、最新回覧板、時には地元イベント情報もお届け。

この「まちづくり通信」の編集にも関わり、今回の特集は“片瀬・江の島の魅力をさぐる”としました。地元ならではの視点で切り取った風景写真や、地域の財産である歴史ある例大祭の紹介を通して、あらためて地元の魅力を感じていただければと思います。

LINE登録はこちらから！→

生活防災を考えるWG

「誰もが安心して好きな片瀬地区で楽しい日常を過ごせるように」をコンセプトに、普段の生活の中で自然に防災に取り組める活動をしています。

メンバー全員でフィールドワークを行い、そこから見えてきた課題や現状を踏まえて、津波避難サインを設置する候補場所をいくつか選定しました。既存のサインに加えて、視認性や誘導効果に優れたアートを取り入れた「津波避難アートサイン」の設置を検討しています。これからも、片瀬地区の安全・安心を次世代へとつなげていくために、活動を続けてまいります。

（フィールドワークにて）

片瀬＆江の島歴史文化見直しWG

WGではこの地区に存在する歴史文化遺産「旧江の島道」をもっと広く知ってほしいという観点から、旧江の島道のルート説明をした案内板を設置する計画を進めております。設置場所については、片瀬小学校及び常立寺の沿道を想定しております。その他では「江島縁起絵巻」の解説をする講演（会）を行う計画を進めております。

これについては、多くの人が集まる次回の地区集会において、できるだけ多くの人に聞いていただき「歴史を考える」きっかけになればと思っています。

旧江の島道
（目の見えない人のための江島弁財天道標）
（画像提供）
電子博物館みゆネットふじさわ

ごみとマナーの向上を考えるWG

片瀬・江の島地域のインバウンドを含めた観光客が大幅に増加していることにより、ごみの増加が大きな問題となり、特にきれいな海、住民が暮らしやすい街並みが廃棄されるごみ等によって崩されている状況です。

このため、来訪者にごみは持ち帰りを周知し、地元で処分・資源化を図ってもらうための、ポスターの作成と掲示を啓発活動の一環として実施します。未来を担う子ども達にも理解してもらえるよう、小・中学生へのポスターの制作をお願いします。

ポスターの選考・掲示等で地域の方々にもご協力いただけるよう推進方法の具体策検討を行っています。

片瀬・江の島地区の魅力大紹介！

まち協委員が薦める！

【真冬の星空】
年明け早々夜9時過ぎるとシーキャンドルの灯りが消えて片瀬の上空に星たちが煌めき始めます。

【夏ものがたり】

【常立寺の黄色いじゅうたん】
春の梅が有名で片瀬以外からも梅を観に来る方がいらっしゃいます。夏の暑さ、秋の台風、強風の塩害に耐えて12月には大銀杏が一面に黄色いじゅうたんを敷いてくれます。

【片瀬　諏訪神社】
奈良時代723年創建、その時は信州の諏訪湖畔に似ていたそうです。昔大津波で鯨が打ち上げられたという伝承があります。1300年の時を経て変わることのない境内の静けさです。

【湘南港から月が出た】
年に12-3回の満月のうち、夕日と同じように真っ赤な満月が11月に湘南港の灯台付近から顔を出します。夕日を見ながら反対側の空も気にしてください。きっとビックリします。

【虹の彼方へ】

【雲間から現れた空の龍】

【龍口寺の桜】
信州松代から移設された大書院。春には桜が咲き誇ります。

【富士＆相模湾】
1857年ハリス（アメリカ総領事）一行が下田から江戸を目指した時、「太陽に輝く白峰が見えた。それは一目で富士ヤマであることがわかった。一生忘れることはあるまい。この美しさに匹敵するものが世の中にあろうとは思えない。」と記しています。

諏訪神社例大祭

例大祭の始まりは資料を探してもはっきり分かりませんが、大正時代に幼少期を過ごした方のお話をお聞きすると、当時の囃子の指導者が明治生まれだったことから、明治時代或いは江戸時代から始まったお祭りではないかと思われます。

当時は四町内（新屋敷町、西方町、下之谷町、東り町）でスタートし、昭和２５年前後に下之谷町、西方町の一部から西浜区が誕生し現在の五町となり、各祭典委員会がお祭りを催行し現在に至ります。また例大祭は、毎年８月２３日から２８日となり、この日程は毎年変わらず同じ日に開催するのが特徴です。

各町内会は、それぞれ山車屋台太鼓等を所有しており、お祭りの期間中は町内ごとに、屋台囃子や子供神輿、町内神輿が町内を一巡、山車を引回す町内もありお祭りムードが高まります。

２６日は前夜祭として宵宮が行われ、山車屋台が繰り出し囃子の軽快なリズムで町内を巡行。

２７日は朝４時に五町内の屋台が神社前に集まり浜降り式、その後五町内を巡回する神幸祭（神興渡御）が行われ、夕方から龍口寺前から屋台神輿山車が隊列を組んで神社に宮入。

２８日に幟を降納し、長いお祭りが終了となります。

例大祭は地域の方や子供たちが、囃子や神輿、山車などを通じて伝統文化に触れ、地域の繋がりを深める為の重要な役割を担っています。

諏訪神社例大祭実行委員会
会長　岩田　記一

～各地区の山車～

（新屋敷）

（西浜）

（西方）

（東り町）

（下之谷）